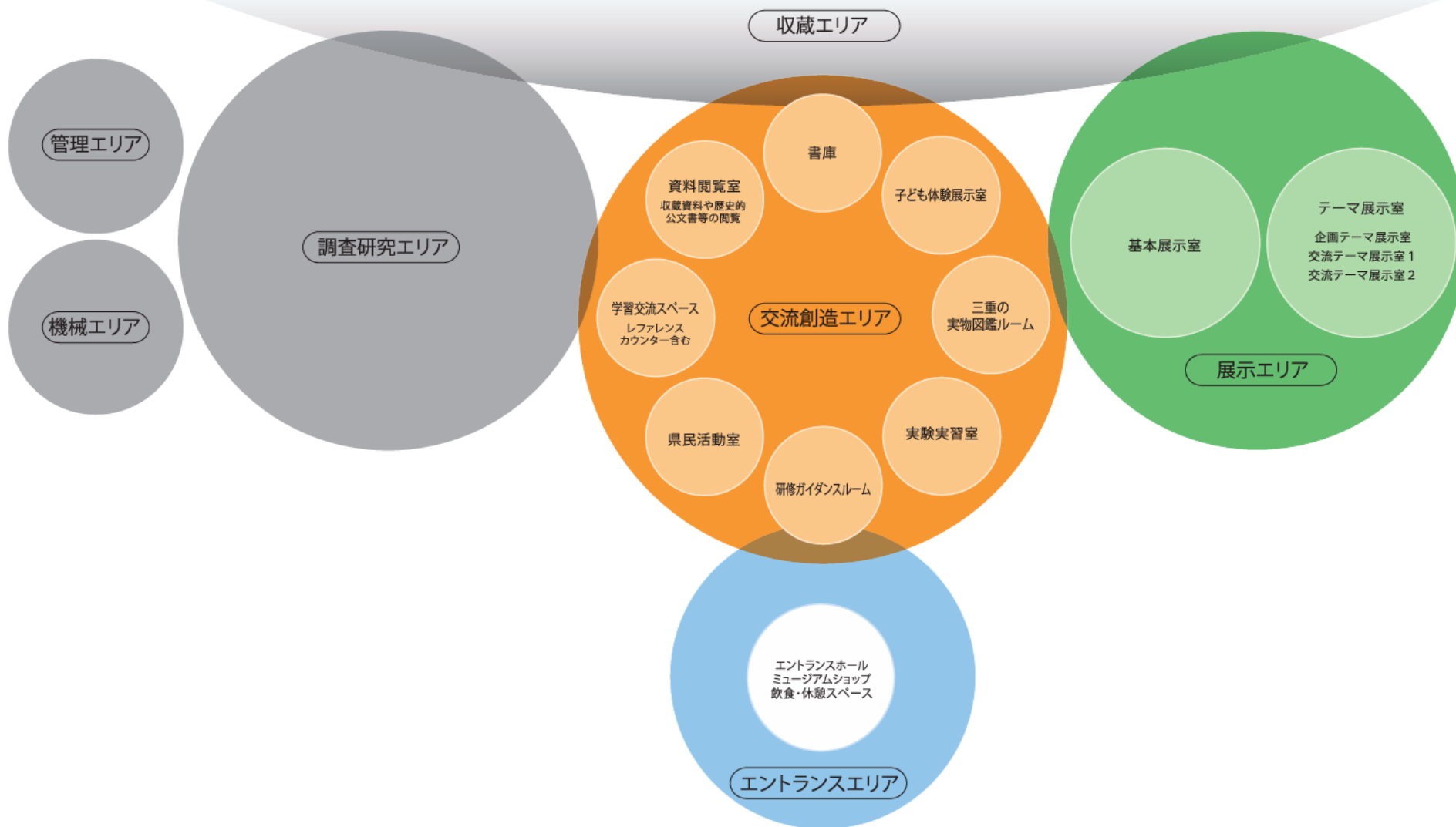


新県立博物館概略設計案〔展示〕（概要版）



すべての博物館活動を県民・利用者に関き、
各エリアが連動して、博物館全体で三重が持つ『多様性の力』を創造・発信



三重が持つ『多様性の力』を創造する交流創造エリアと 発信する展示エリアが融合し、新たな知を創出

交流創造エリア

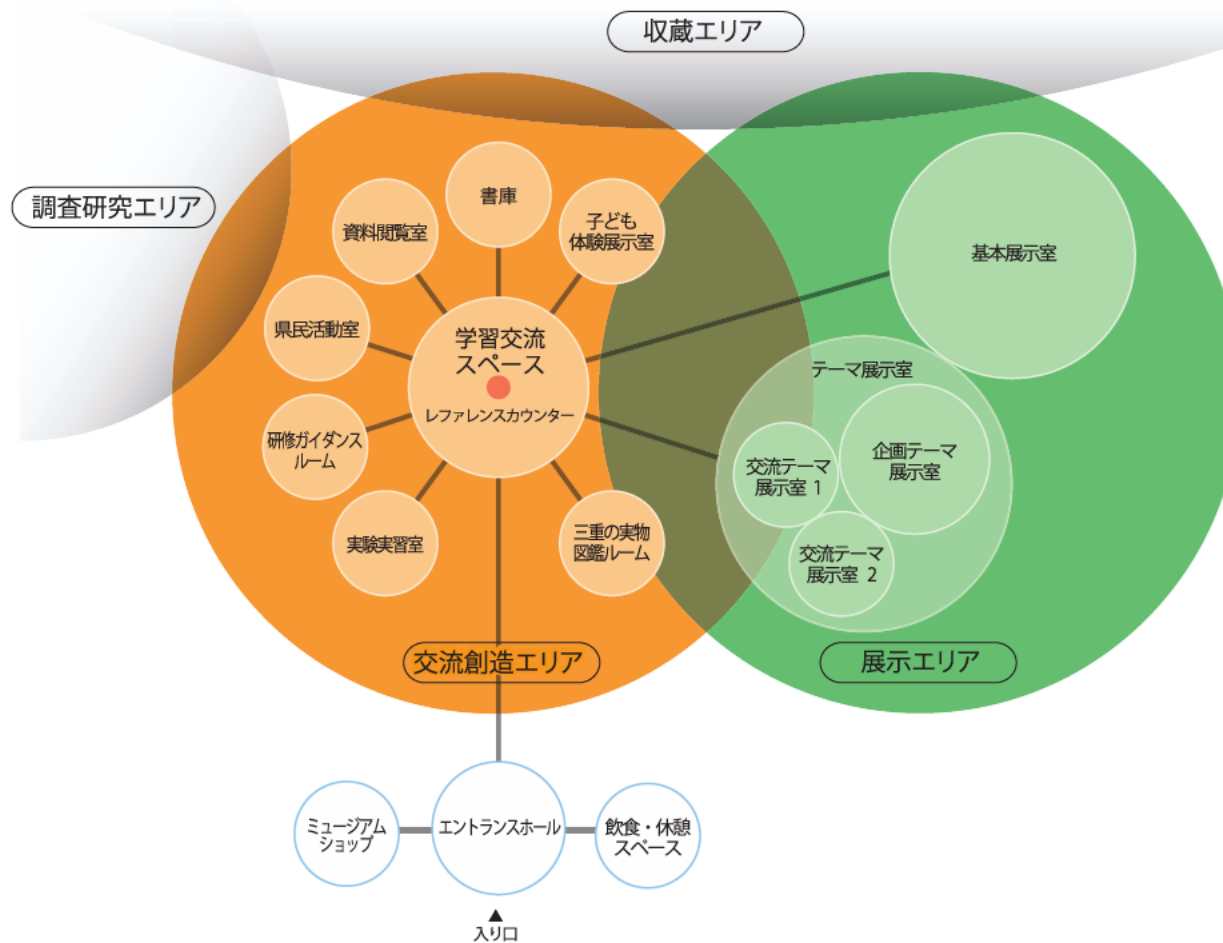
三重の自然と歴史・文化に関する資料、
情報を活用し、誰もが気軽に主体的に活動できる。

さまざまな博物館活動への入り口、交流創造を積極的に
展開するための中核的な役割の場。県民・利用者と
館、県民・利用者相互の対話や交流が活発に展開され
ることで、三重の誇りや新たな創造につなげ、発見する
場。好奇心いっぱいの子どもたちが集う場とする。

展示エリア

基本展示室とテーマ展示室が連動し、
多様な三重を伝え、未来へつなげる展示。

三重の多様で豊かな自然と歴史・文化のあらましを紹介す
る「基本展示室」と、複数のテーマによる大小さまざまな企
画展示の組み合わせで展開する「テーマ展示室」とを連動
させ、三重の多様性を多角的、多面的に紹介する。



多彩な交流が生まれる博物館の中核をなす交流創造エリア

県民・利用者が、それぞれの興味や目的に応じて三重の自然と歴史・文化に関する情報・資料を閲覧・活用できる。また、学習交流プログラムなどのさまざまな機能を活用したり、活動に参加したりすることで、三重についての知的な探求ができる場所。レファレンスカウンターを中心に、個人の学習や研究、グループ、団体での活動など、さまざまな活動にも対応できる場とする。



活動がみえる、交流を促す、創造の場

空間を活用し、
博物館資料に親しむ展示



子ども体験展示室

三重の実物図鑑ルーム

子どもが主役の
子ども体験展示室



基本展示室

テーマ展示室

ゆったりくつろげる

学習交流スペース

主体的に活動できる

多彩な
学習プログラムや
ワークショップを展開できる

研修ガイダンスルーム

県民活動室 実験実習室

どのような活動にも応える
4つの性格のスペース

- 1 多彩な学習プログラムやワークショップを展開できるスペース
- 2 団体やグループで主体的に活動できるスペース
- 3 ゆったりくつろげるスペース
- 4 落ち着いて書籍などを閲覧できるスペース

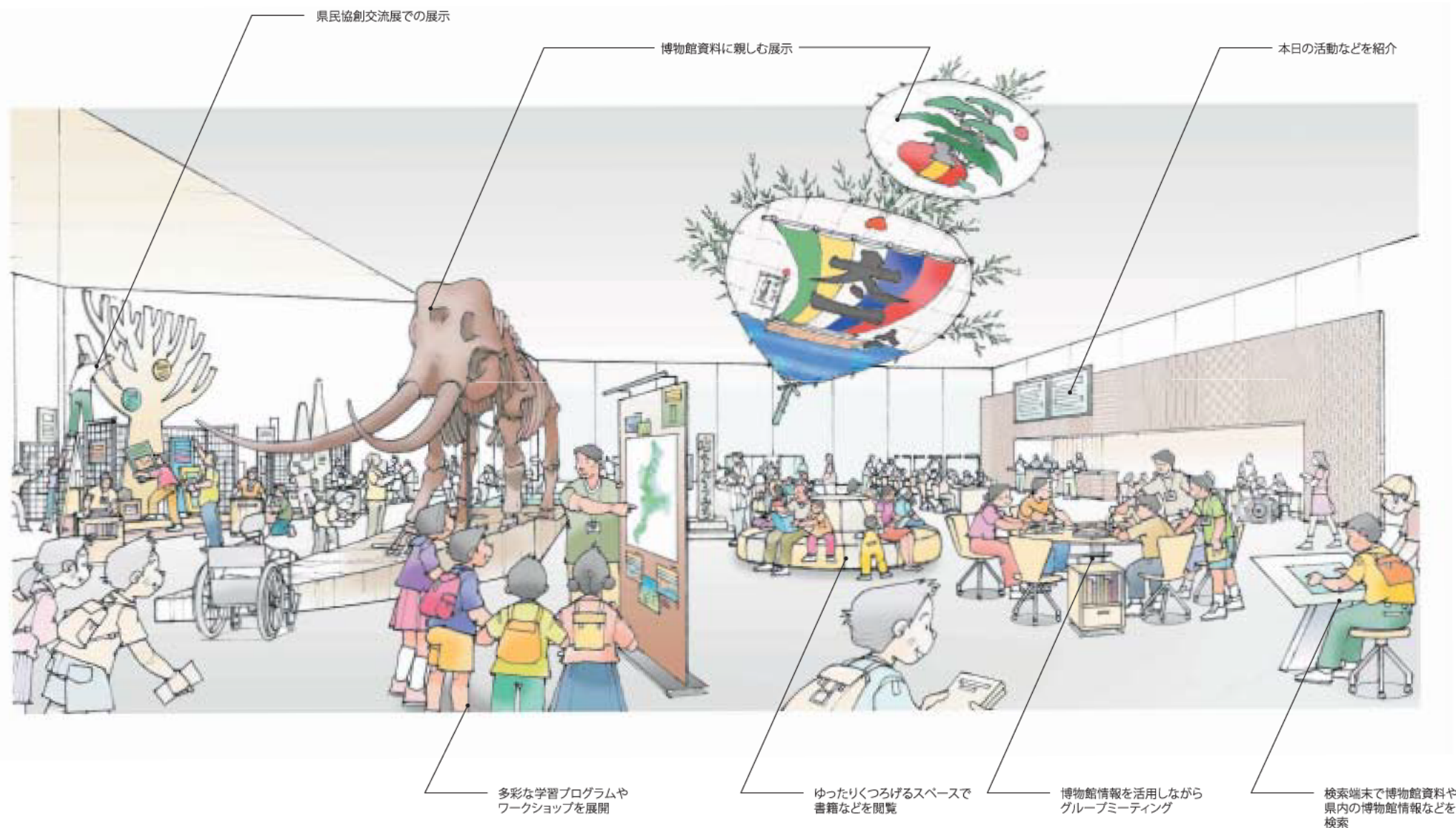


書庫

資料閲覧室

博物館サービスの顔・利用者の活動をサポートする
レファレンスカウンター





※4ページの具体的なイメージが伝わるように作図しています。

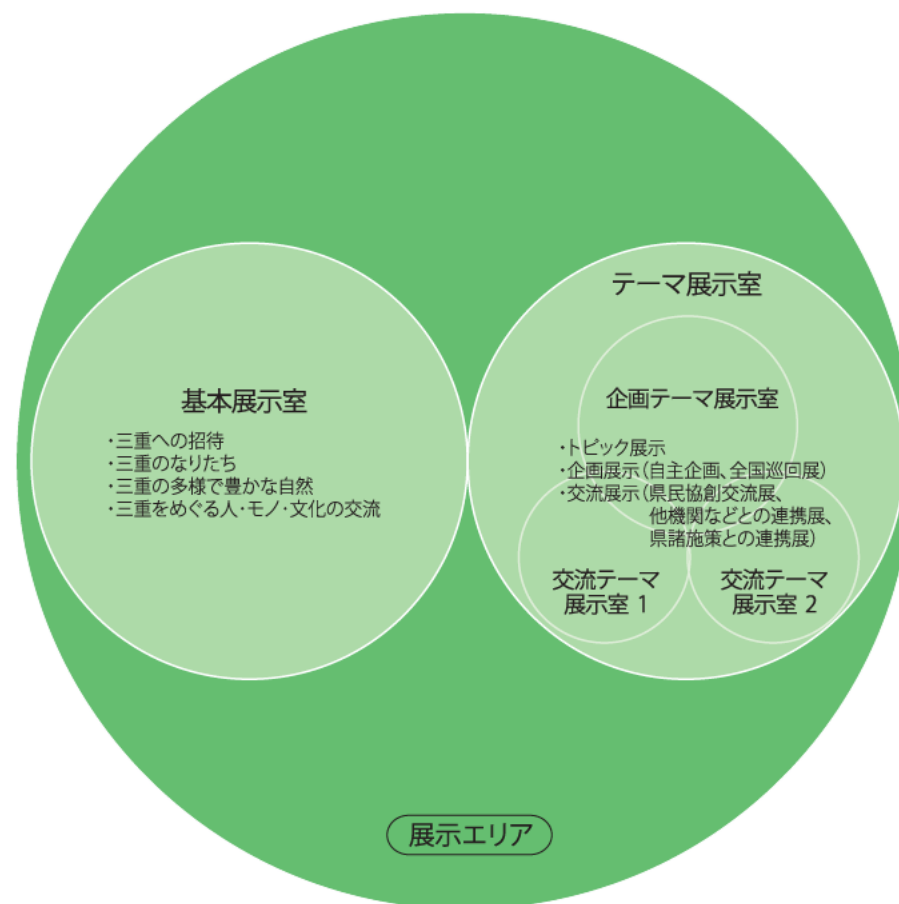
子どもが創る・発信する 子どもが主役の体験展示室

博物館でなければできない体験(博物館のモノや人に関わり、楽しむ活動)を通じて、子どもたちが博物館を好きになる中核的な場所とする。



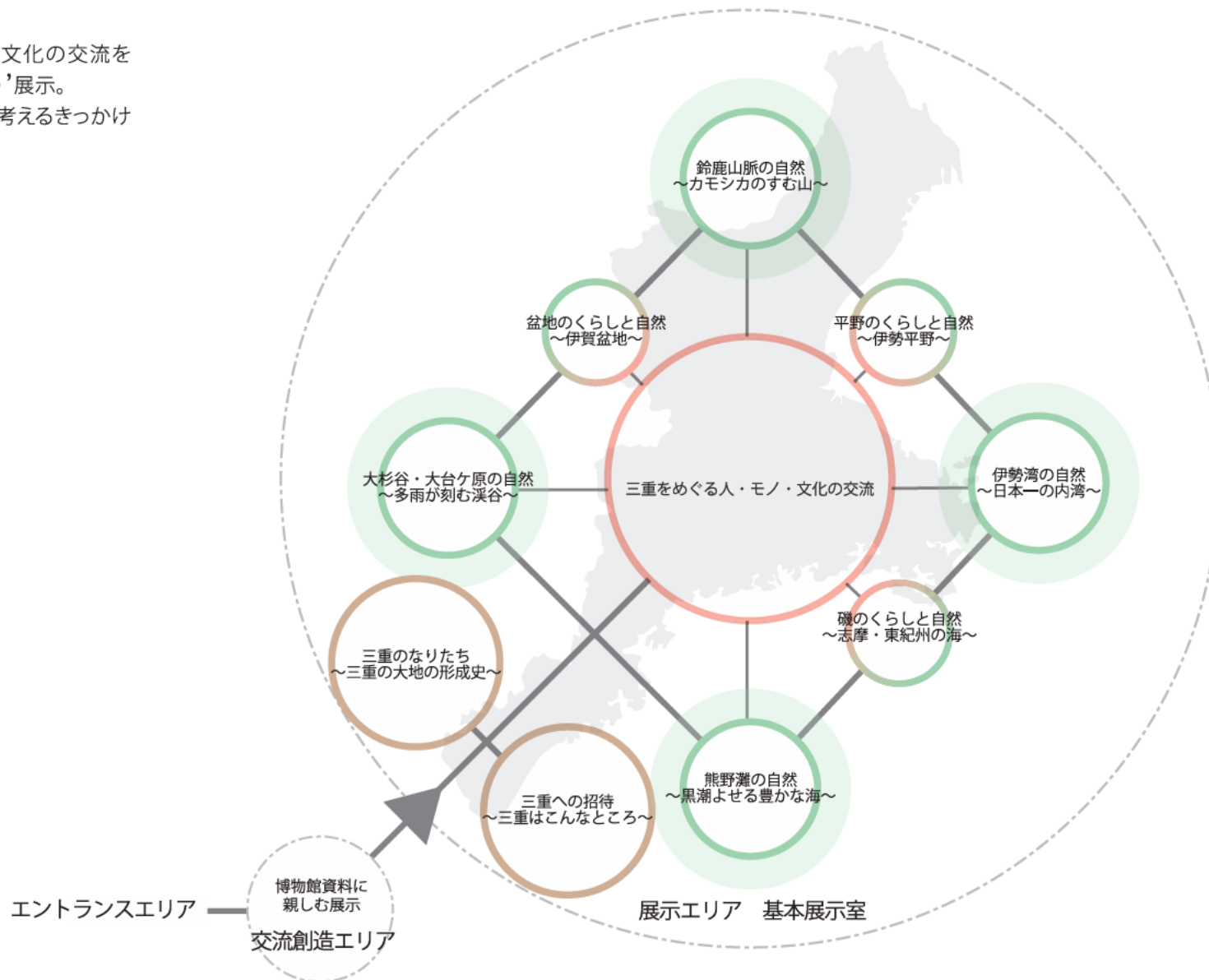
多様な見方を可能にする基本展示とテーマ展示

三重の多様で豊かな自然と三重をめぐる人・モノ・文化の交流などの展示をとおして「三重ってすごいところ!」を伝える「基本展示室」と、全国的な視野も交え、大小さまざまな展示の組み合わせによって、多角的に三重の魅力を伝える「テーマ展示室」が連動することで、生きた展示を目指す。参加型の展示やさまざまな連携展示を通して、今とつながる、未来へつなげる展示とする。



多様で豊かな三重の自然とくらし、 人・モノ・文化の交流を巡る展示ストーリー

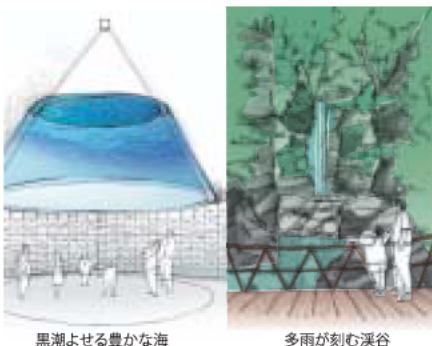
多様な三重の自然のすがたや人・モノ・文化の交流を紹介する‘三重のマイクロコスモス(小宇宙)’展示。
三重の多様性やそれらが持つ力について考えるきっかけとなる展示とする。



「感じる」「自分とつながる」「展示活動に参加できる」展示

感じる展示

多様で豊かな自然や多彩な交流を空間体験を通して、体感的に伝える展示。

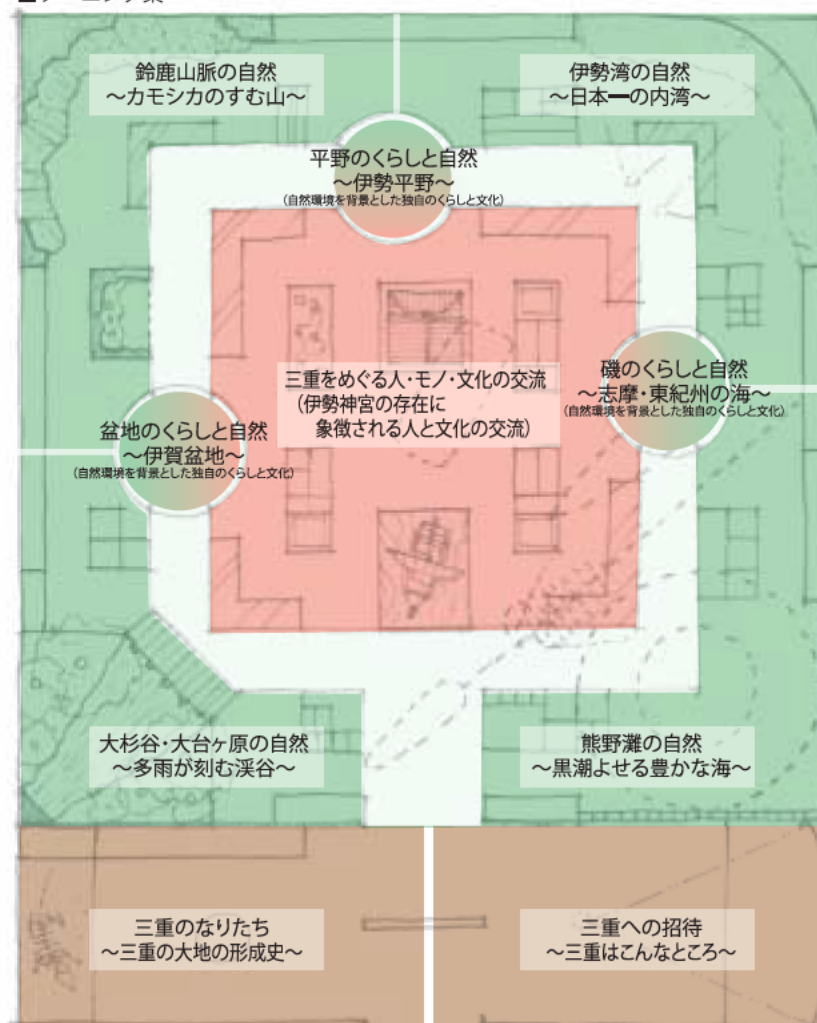


知る・つながる展示

ハンズオンなどアクションを起こす身体感覚に訴える展示手法や、現在の私たちの身の回りとの比較を通して、より身近に感じてもらう展示。



■ゾーニング案



調べる・参加する展示

展示室内に三重の自然と歴史・文化に関する情報・書籍コーナーを配置。県民から集まった最新の地域情報を調べたり、書籍を閲覧できる。展示に関するワークショップを実施し、地域とつながる。



県民から集まった最新の地域情報が調べられるスペース



各コーナーのテーマをより深く知るための書籍と閲覧スペース



基本展示室内でのワークショップ



さまざまな展示を可能にするフレキシブルな空間

大規模な全国巡回展や自主企画展、県民との協創交流展などの組み合わせで、多様な三重の魅力を幅広く紹介する。各々の展示内容や規模に応じて、大小さまざまな展示空間をつくりだす。3種類の仕様を持つ展示室を効果的に組み合わせ、多様に展開。

企画テーマ展示室

国宝・重要文化財などの指定文化財の展示にも対応できる展示室

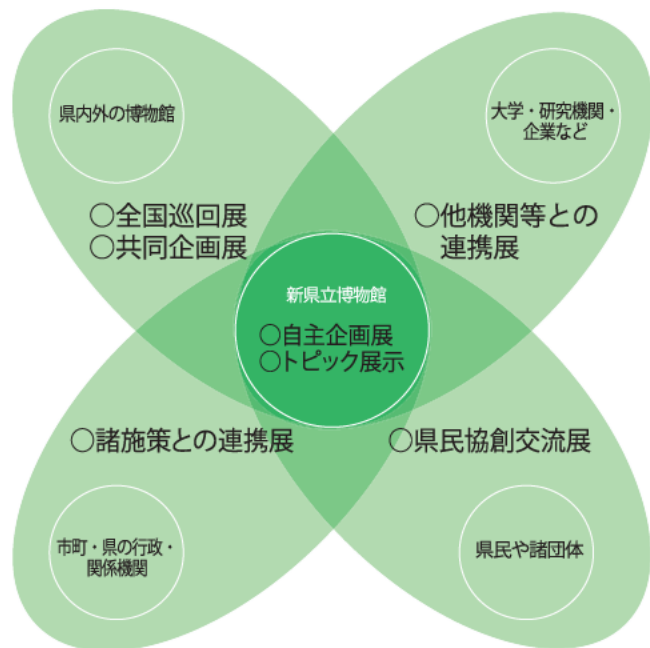
交流テーマ展示室 1

県民協創交流展などの多様な主体との交流展示やワークショップなどを中心に活用できる柔軟な仕様をもつ展示室

交流テーマ展示室 2

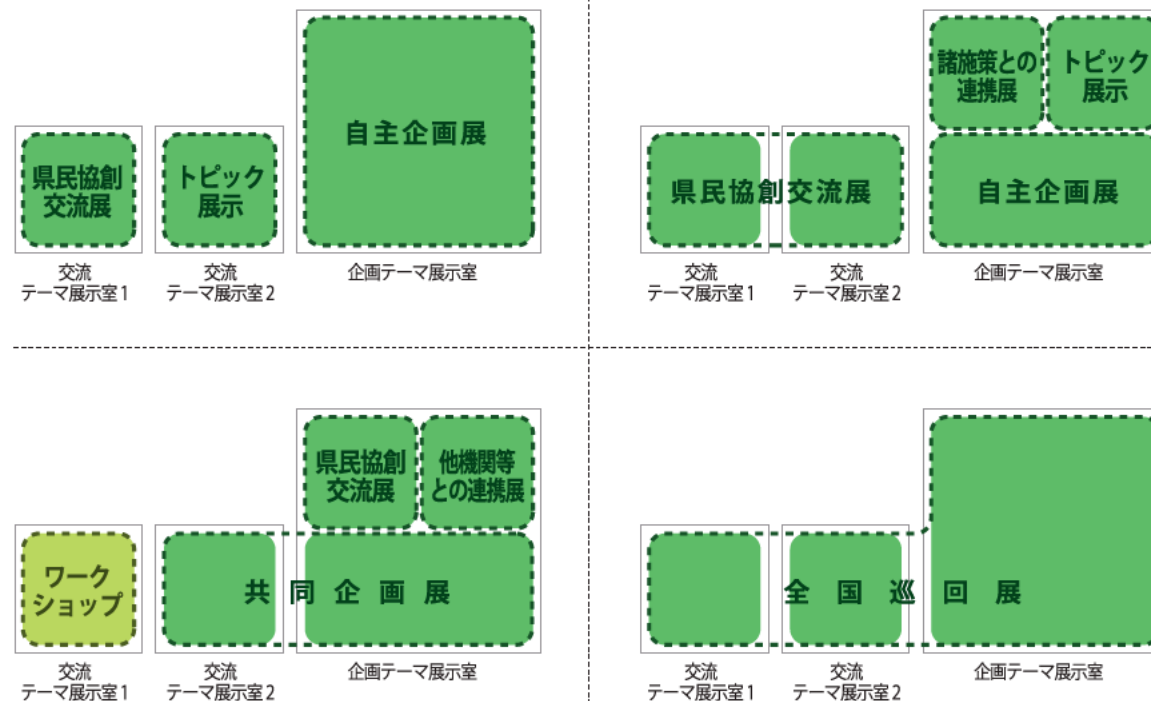
交流テーマ展示室 1 と企画テーマ展示室の中間的な環境設定の展示室

■さまざまな展示の展開例



■テーマ展示室の展示展開パターン例

■ 展示 ■ ワークショップなどその他の催し



多様な三重の魅力を多様に展開

三重の多様で豊かな自然と歴史・文化に関連したさまざまな形態による展示を展開。

企画展示（自主企画展・全国巡回展・共同企画展）



「美し国・三重の至宝」のイメージ

調査研究などの成果をベースに三重の自然と歴史・文化や、これにちなむ幅広い魅力を紹介する自主企画展や全国的な規模で行われる全国巡回展、共同企画展などを開催。

テーマ例

- 「美し国・三重の至宝」
三重の豊かな歴史・文化をあらわす国宝・重要文化財などの至宝を一堂に集めて紹介
- 「古文書が語る地域の歴史」
古文書等の歴史資料によって地域の歴史を紹介
- 「日本で見つかった恐竜たち - 大型恐竜のナゾをさぐる -」
全国の博物館との共催で、トバリウムをはじめ、国内で見つかった大型恐竜を紹介する巡回展を開催

交流展示（県民協創交流展・他機関等との連携展）



県民参加型調査展
「三重の里山を考える」のイメージ

県民や諸団体などとの協創による展示。県民協創交流展をはじめ、文化施設や大学、地場産業、企業などとの連携を図り実施。

テーマ例

- 県民参加型調査展「三重の里山を考える」
- 諸団体との協創による展示「自然文化祭」
- 「小さなチョウの大きな旅 - 日本を縦断するチョウたち -」
- 「地域に残る石仏たち - サポートスタッフとの協創調査から -」
- 「日本まんなか共和国共同展」 など

トピック展示



「クジラをめぐる人とまつり」のイメージ

基本展示と連動・補完する展示。随時展示替えを行うことで、常に新しい三重の魅力を発信、発見。

テーマ例

- 「クジラをめぐる人とまつり」
- 「物語のなかの生きものたち」
- 「ウシ・牛・丑年（干支シリーズ）」
- 「サクラとその名所」
- 「伊勢型紙のワザと意匠」 など

交流展示(県諸施策との連携展)



「三重の防災—地震・台風を記録した歴史資料から学ぶ—」のイメージ

博物館の展示発信機能を生かした、県の諸施策などの発信。

テーマ例

- 「三重の防災—地震・台風を記録した歴史資料から学ぶ—」
- 「戦争の記憶 - 過去の経験から平和を考える」
- 「三重の子育て100年 - みんなで支える三重の子育て -」 など